

# 《 あいち 》 職員 における 自己評価結果 (公表)

2020年度

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切であるか	5			出来るだけ密になら ないように工夫してい る。	
	②	職員の配置数は適切であるか	5			支援や療育に必要な 時は配置数以上の職 員を配置し細やかな 支援を行っている。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配 慮が適切になされているか	5			スロープの設置。クッ ションフロア。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標 設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5			毎日の振り返りを行っ ている。 法人職員に応援に 入ってもらうなどし意 見を聞いている。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を把握 し、業務改善につなげているか	5			前年度避難訓練を 行っているかわからな いというご意見をいた だき、お便りに実施報 告を乗せることにし た。	送迎について意見をいただ くことが多い。今後の検討 課題としたい。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホー ムページ等で公開しているか	3	2			
	⑦	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか	5				今年度は研修が少なかっ た。研修があってもコロナ が不安で参加できなかった。
	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後 等デイサービス計画を作成しているか	3	2		事前に懇談表を記入 してもらうことで、より スムーズな懇談がで きた。	聞き取りのスキルアップが 必要だと感じた。事前に多 職種からも聞くべきことを確 認するなど、具体的な支援 につながる懇談をしていく。
適切な 支援の 提供	⑨	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5				
	⑩	活動プログラムが固定化しないよう工夫してい るか	5			ステップアップするよ うな内容を展開した。 重心児はできている 実感も必要なので『同 じこと』『できること』も 大切にしている。	

適切な支援の提供	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	1		毎回どこを頑張るか楽しむかというポイントを話し合っている。そのためにもどう人員配置するか支援するかを決めている。	長期休みになると流れがうまくつかめず、きめ細やかな支援になっていたかと思う日がある。反省をいかしながら経験を積み重ねたい。	
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			行っている。		
	⑬	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5					
	⑭	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5			毎日振り返りを行っている。多職種との意見交換により、その子にあった支援に結び付けることができている。		
	⑮	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	1				
	⑯	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5					
	⑰	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5					
	⑱	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5					
	⑲	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5					
	⑳	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5					
	㉑	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5					
	関係機関や保護者との連携	㉒	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5				
		㉓	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		3	2	今年は研修がなかったが、モニタリングの際に助言をいただいた。	
㉔		(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		3	2		今年は会議等少なかったが自分から情報を得て参加していきたい。	

関係機関や保護者との連携	②5	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5				
	②6	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	1			機能訓練士や看護師と共に発達について等積極的にアドバイスしている。
	②7	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5				
	②8	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5				
	②9	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2		3		
	③0	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5				
保護者への説明責任等	③1	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			お便りやプリントを渡している。	
	③2	個人情報に十分注意しているか	5				
	③3	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	1			まだ意思疎通できているか判断が難しい時がある。かかわりを深めその子なりのサインをわかっていきたい。
	③4	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			5		今年度は難しかった。次年度はコロナの状況を見て交流ができる場面を作っていきたい。
非常時等の対応	③5	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5				
	③6	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5				
	③7	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5				
	③8	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2		3		転倒や事故につながる場面以外身体拘束を行う場面がない。
	③9	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5				
	④0	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5				

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。